

腹腔鏡技術認定医取得に向けてのモデルコースのご案内

広島大学では産婦人科内視鏡技術認定医取得に向けたモデルコースを作成し、取得のサポートを行なっています。是非このモデルコースを活用していただきワーキンググループのサポートを受けて効率的に腹腔鏡技術認定医の取得に向け準備を進めていただければと思います。

修練目標

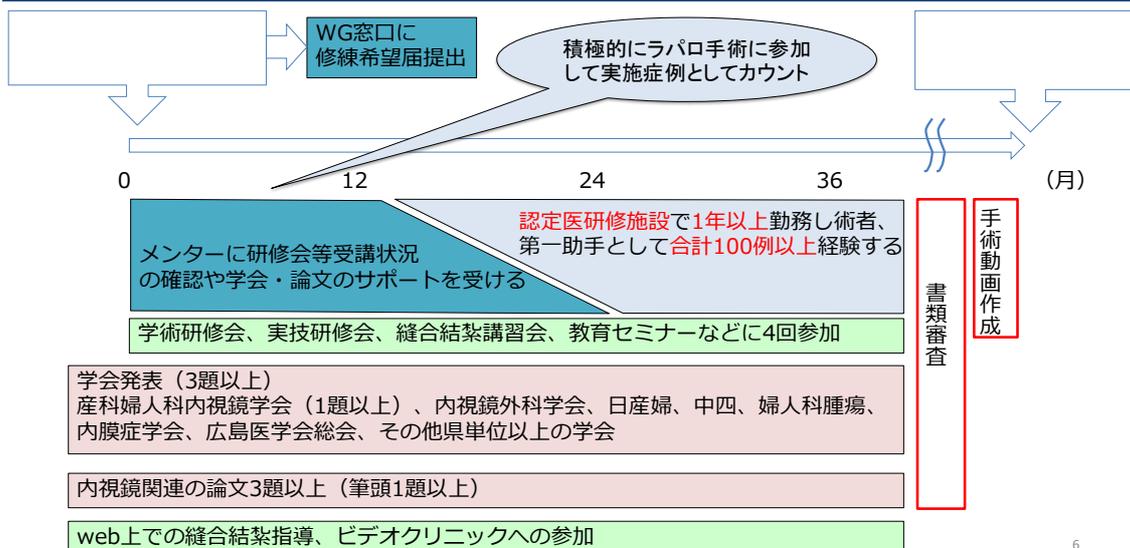
修練目標

- 今後、産婦人科医師にとって**内視鏡手術に関する基本的知識、技術の習得は必須**となる。
- 内視鏡手術を安全かつ円滑に施行し、技術指導も円滑にできるだけ技術・知識を習得する。

内視鏡技術認定医取得のために

- 各人の認定医取得の希望、認定医取得要件の現状を把握するために**アンケート**を行い、このアンケートを元に認定医取得要件を満たす修練医、もうすぐ満たす修練医から優先的に**サポート**を行う。
- 1年毎に認定医取得要件の現状の調査を行い**アップデート**する。
- 新たに認定医取得を希望する場合は**モデルコース**を活用する。（人事の配慮が必要）
- **メンター制度**を創設する → 修練医に固定のメンターをつけて、研修要件を満たすサポートをする。
- **web上での縫合結紮指導、ビデオクリニックの開催**をする。

モデルコース



本モデルコースではワーキンググループによるサポート開始の要件として、以下 3 つとさせていただきます。

- ①産科婦人科内視鏡学会への入会
- ②1 回以上の学術研修会への参加
- ③修練希望届の提出

つきましては産婦人科腹腔鏡技術認定医取得に向けてワーキンググループによるサポートをご希望され、上記の①と②を満たす先生は、修練開始希望届に必要事項をご記入いただき、広島大学産婦人科専門研修プログラム管理委員会（担当：古宇）iemasako@hiroshima-u.ac.jpまで修練開始希望届の提出をお願いいたします。

なお、修練開始希望届は現状把握のためのアンケートも兼ねており、この修練開始希望届を元にワーキンググループにてメンターを決定し取得までの計画を立てサポートをしていく予定です。

修練開始希望届提出の締め切りはありませんので、要件を満たしサポート開始をご希望された時点で提出ください。

ご不明な点・ご意見等がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

御多忙の折大変恐縮ではございますが、宜しく願い申し上げます。

サブスペ管理グループ 腹腔鏡技術認定医担当ワーキンググループ 兒玉尚志、本田裕、関根仁樹、友野勝幸